

**映画会
お知らせ**

こどもえいがかい 開始 10:30~ (開場 10:15)	市民映画会 開始 14:00~ (開場 13:30)
6/14(日) 『決定版恐竜大図鑑1』	6/14(日) 『デーヴ』
6/21(日) 『オズの魔法使い』	6/21(日) 『流浪の月』
7/12(日) 『ファール昆虫記 アリとオトシブミ』	7/12(日) 『クリムゾン・タイド』
7/19(日) 『リトルマーメイド』	7/19(日) 『バタアシ金魚』

とこぶん通信

2026
6・7



参明藤開山の碑



富士登山三十三度
記念碑

とこぶんさんぽ
神明社の富士講記念碑

富士講とは富士山を信仰対象とする講の1つで、起こりは諸説ありますが、隆盛を極めたのは江戸時代。食行身禄じきぎょうみろくが江戸を中心とした地域から庶民層に富士信仰を広め、その弟子たちが講を結集し、先達と呼ばれるリーダーに率いられ、富士登山を行い、あるいは富士塚を築く風習が江戸に定着していきました。所沢市の富士講もこのような江戸を中心とした富士講の範疇に含まれ、その系譜を引くものと考えられます。

所沢神明社の境内には富士講の記念碑が二基現存しています。所沢町を中心とした所沢講社によるもので、明治17年に建立されました。講の目印である講紋は②であり、所沢の頭文字の「と」を用いたものと思われます。

左の写真の碑は「御身抜き」と呼ばれる富士講の信仰や宇宙観を表したもの(仏教の曼荼羅のようなもの)で「参明藤開山」と記されています。これは掛け軸に記されご本尊として祭られるものが多いのですが、御見抜きの全体が石碑に刻まれているものは大変珍しいです。西参道を登山道に見立てているので本社側から見ると背面になりますので、表側を見たい時はお足元にお気を付けください。

《参考文献》
『所沢市史 民俗』所沢市史編さん委員会/編 所沢市 1989年 <K/222/ト>
『民衆宗教の源流』佐々木千代松/著 白石書店 1983年 <160.21/サ>

おはなしのへや

おはなし会
6/6 6/20
7/4 7/18
親子おはなし会
6/26
7/24
2階おはなし会室にて
10:30~開始



CD & DVD
特集コーナー

MUSIC
MOVIE

にじの曲

7/16 虹の日にちなみ
「虹」や「レインボー」の曲
1階視聴覚コーナーにて展示中

とこぶんからのお知らせ

CHECK

7月イベント 「本の中のワンフレーズ」

7月1日(火)～7月31日(金)

本の中のワンフレーズ(一文)を印刷したブックカバーをかけ、中身が見えない状態で、展示します。

気になる一文から、直感で本を選んでみてください。

職員おすすめ本と、利用者のおすすめ本を展示する予定です。



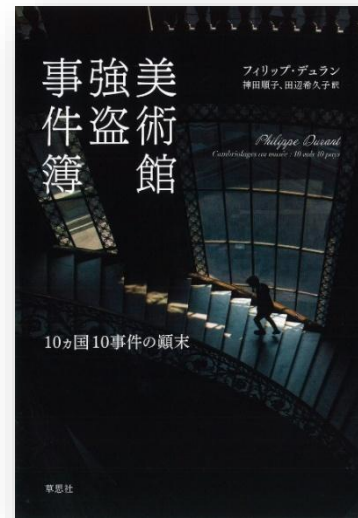
とこぶんとピックス～電子書籍～

昨年からはまった所沢市電子図書館をご存じですか？約12000冊の書籍の所蔵があります。

今年の4月からは児童向け書籍も充実。「青い鳥文庫(人気シリーズ作品)100点や電撃文庫などのライトノベルもあります。

夏休み等に役立つ旅行ガイドブックの最新版も多数所蔵。ぜひ利用してみてください。

※利用できるのは市内在住、在勤、在学の方のみです。



『美術館強盗事件簿』
フィリップ・デュラン／著
神田順子・田辺希久子／訳 草思社

『美術館強盗事件簿』
フィリップ・デュラン／著

神田順子・田辺希久子／訳 草思社 2025年
2025年10月、フランス王室ゆかりの宝飾品がパリのルーブル美術館から盗まれたのは記憶に新しいと思います。令和の時代にルパンのような泥棒がいるなんてと想像を巡らしますが、現実の盗賊は普通の警備員のおじさんだったり、高尚な理由を掲げているようで、その実はただ金銭的に困窮していたり。

本書は、ルーブル美術館の『モナ・リザ』が盗まれた事件を筆頭に世界各地で起きた10件の名画盗難事件の顛末を描いたノンフィクションです。事件の背景や登場人物が丁寧に描かれているので、ちょっとしたミステリーのような読みごたえがあります。

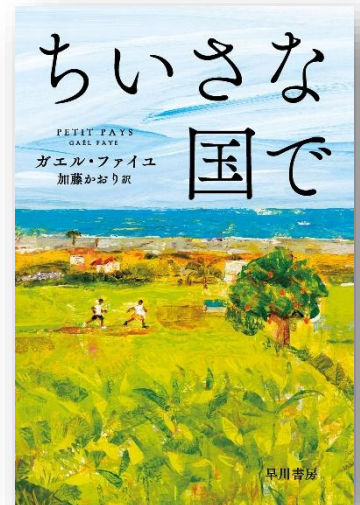
押し本
とこぶんスタッフ選

『ちいさな国で』

ガエル・ファイユ／著 加藤 かおり／訳
早川書房／ハヤカワ epi 文庫 2020年

ブルンジというアフリカの共和国で生まれた、フランス人の父とルワンダ難民を母にもつ著者の自伝的な小説です。国と個人の複雑な背景は日本人にはなじみの薄いものですが、南国のおおらかな日常が戦いで損なわれていく不条理さや、残酷な状況で奪われる絆と失われない愛惜は、時代も宗教も肌や眼の色も関係なく胸を打ちます。

この本での出来事は、全く違う人生を垣間見たつもりで、実は身近なこともかもしれません。立場が異なる人間同士の共生の難しさを感じつつ、今起きているニュースの背景で、遠い空の下で実際に生きる人々の平穏を願いたくなる一冊です。



『ちいさな国で』
ガエル・ファイユ／著
加藤 かおり／訳
早川書房／ハヤカワ epi 文庫